



プログラム名		田んぼの虫になりきろう							
対象年齢		年中 年長(4~6歳児)							
ねらい	メッセージ	身近な虫に関心をもとう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田んぼにいる虫 ・ ルーペでみる不思議さ 							
参加者のめやす		幼児 60人		/		支援者 3人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
3分		田んぼにいる虫について				子どもたちに知っている虫を聞いてみましょう。			
7分		虫探し				ルーペの使い方を説明して、配ります。 p14「魔法のめがね」参照 探す範囲を伝えます。 生きものには優しく接するように伝えます。			
5分		 <p>イナゴ みつけたよ。</p>				ルーペを回収します。 どんな虫がいたのか聞いてみます。 捕まえた虫は子供たちにどのようにすればいいか問い、還すように伝えます。			
		模倣する				見つけた虫がどんな動きをしていたか、子どもたちに聞いてみます。			

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	イネおに ・ゲームの説明を聞く ・イネになる  イネの格好 ・ゲーム終了	ルールを確認しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  「イネおに」のあそび方 <ul style="list-style-type: none"> ・ こおりおにと同じルール。 ・ 鬼：カマキリ 子ども：バッタ ・ カマキリにタッチされたバッタは、その場でしゃがんでイネになる。 ・ カマキリは3人、途中で様子をみながら人数を増やす。 ・ 笛の合図で終了 </div> 鬼（カマキリ）は支援者がなります。 逃げ切った子どもたちに拍手を送ります。 カマキリに捕まり、イネになった子どもたちの復活を考えます。
5分	ふりかえり	次回に期待がもてるように声をかけます。
【異年齢への対応】 年少：・特徴のある虫を模倣してみましょう。 （例）バッタ、カマキリ、ダンゴムシ、鳥や動物など ・5～6名のグループになり、支援者がループを持ち、子どもたちに見せます。 ・子ども40名に対して、10㎡ぐらいに範囲を決めます。 ・田んぼゾーンを作り、カマキリにタッチされたバッタは、イネにならず田んぼゾーンに入ります。		
【園や家庭に帰ってから】 図鑑で、探した虫の特徴などを調べてみましょう。 家や園庭などで虫を探してみましょう。 園内の遊具や道具をループで見てください。		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ループ（人数分） ・ 笛 	

